



## 江北歴史講座

# 荒川放水路の歴史と 最新の洪水対策



現在は荒川の一部となっている荒川放水路は、令和 6 (2024) 年 10 月 12 日に通水 100 周年を迎えます。明治・大正・昭和にわたる放水路開削事業を振り返ることで地域の歴史を振り返り、最新の洪水対策について学びましょう。

11月18日(土)

午前 10 時～11 時 30 分

対象：16 歳以上

料金：550 円

定員：40 名

講師：国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

流域治水課 課長 坪野 恭久氏

申込方法：9/26 (火) 午前 9 時から窓口・電話、  
午後 1 時から他館・インターネットで申込可能。

## 足立区江北地域学習センター

指定管理者/株式会社 ティー・エム・エンタープライズ  
令和 5 年度江北地域学習センター区共催事業

📞 03-3890-4522 📞 03-3890-5212

メールでの  
お問い合わせはこちちら →  
センターホームページ  
QR コード



日 時： 令和5年11月18日（土） 開場 午前9時30分 講演 10時～11時30分

会 場： 江北地域学習センター（足立区江北3-39-4） 2階 第一・二学習室にて

定 員： 40名

費 用： 550円

開催日の8日前までにお近くの地域学習センター窓口にてお支払いください。

申 込： 令和5年9月26日（火） 午前9時より 窓口、お電話にて受付

### ■講座紹介

荒川放水路は2024年10月12日に通水100周年を迎えます。（通水式：1924年（大正13年10月12日に実施））その大元となる荒川は173kmに及ぶ一級河川です。埼玉県、山梨県、長野県にまたがる秩父山地の甲武信ヶ岳（標高2,475m）の山麓に「荒川源流点の碑」があり、そこから秩父盆地を通り長瀬渓谷を抜け埼玉県の寄居より関東平野に出て、熊谷、川越、戸田市、東京都との県境を経て、北区の新岩淵水門で墨田川と分かれ、足立区より向きを変え江東区、江戸川区の区界を通り東京湾に注ぎます。古くから荒ぶる川の経緯があり、度々洪水を引き起こしていました。そのため、治水の事業の歴史も併せ持つ河川でもありました。江戸時代の西遷、明治・大正・昭和にわたる放水路開削事業は荒川の流路を変える一大事業でした。この講座ではそうした荒川の歴史を含めて分かり易く皆様に解説致します。

### ■講師紹介

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 流域治水課 課長

坪野 恒久（つぼの やすひさ）

平成11年度、国土交通省入省。荒川上流部等での河川の工事、事業調整や、関東河川の管理、計画等を行い、令和2年度、本省で全国河川の管理、技術開発等の業務に従事。令和4年度から現職に着任し、荒川の計画、調査、設計等業務に従事。流域の皆様と、荒川を安全でより良い河川にするため、事務所をあげて取り組んでいます。



### ■NPO法人五色桜の会紹介

当会では「五色桜」をめぐる先人の偉業や功績を広く語り継ぎ、後世に伝えようと平成24（2012）年の「日米友好桜100周年」を節目に活動を本格化させ、「学習会」や「観桜会」など多岐にわたり事業を立ち上げ、平成25年からは毎年、「あだち五色桜マラソン」を荒川下流の江北橋緑地で共催しています。

ホームページ：<https://www.goshiki-sakura.jp>